

Well-Being (地域幸福度) 指標

※本資料は、R7年度末時点の情報を参考に作成しています。

・基準：全国平均値50

・函館市 60以上 ⇒ **強み:赤** 40以下 ⇒ **弱み:青**

区分	因子	主観	客観
生活環境	①医療・福祉	54.2	45.9
	②買物・飲食	49.2	51.4
	③住宅環境	60.1	53.5
	④移動・交通	45.2	52.6
	⑤遊び・娯楽	39.2	49.4
	⑥子育て	40.6	45.2
	⑦初等・中等教育	50.3	47.1
	⑧地域行政	47.1	44.7
	⑨デジタル生活	50.4	56.2
	⑩公共空間	54.7	55.2
	⑪都市景観	68.8	46.1
	⑫事故・犯罪	54.6	50.4
	⑬自然景観	65.1	45.7
	⑭自然の恵み	63.6	53.3
	⑮環境共生	57.8	49.9
	⑯自然災害	52.4	54.9
地域の人間関係	⑰地域とのつながり	63.2	46.7
	⑱多様性と寛容性	46.3	56.0
自分らしい生き方	⑲自己効力感	60.3	49.9
	⑳健康状態	80.0	29.1
	㉑文化・芸術	76.0	52.3
	㉒教育機会の豊かさ	51.5	47.4
	㉓雇用・所得	37.1	41.9
	㉔事業創造	42.7	52.5

【函館市に関するデータ】

地域幸福度(Well-Being)とは

アンケートによる「主観」データと、各種オープンデータによる「客観」データをバランス良く活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標で偏差値化・可視化したものです。まちの特徴を俯瞰で捉え、地域の政策立案に活用することを目的として、デジタル庁で公開しています。アンケート調査では1,487名から回答がありました。

【主観指標と客観指標について】 ※デジタル庁ホームページより

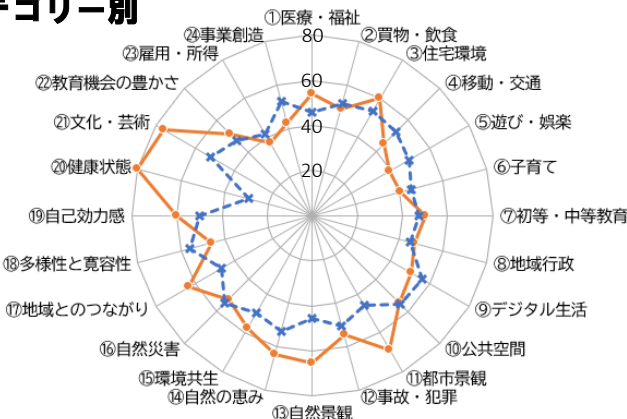
主観指標：アンケートによる主観データ

- ・各自治体が集めたアンケートデータをもとにしている
- ・「幸福感(Well-Being)」を算出したもの
- ・時系列での比較に強い

客観指標：オープンデータによる客観データ

- ・各種オープンデータ等をもとにしている
- ・「暮らしやすさ」を測定したもの
- ・分野間などの比較に用いる

カテゴリー別



Well-Being 指標
ダッシュボード

— : 主観指標(アンケート)
— : 客観指標(オープンデータ)

幸福度 平均値 6.6

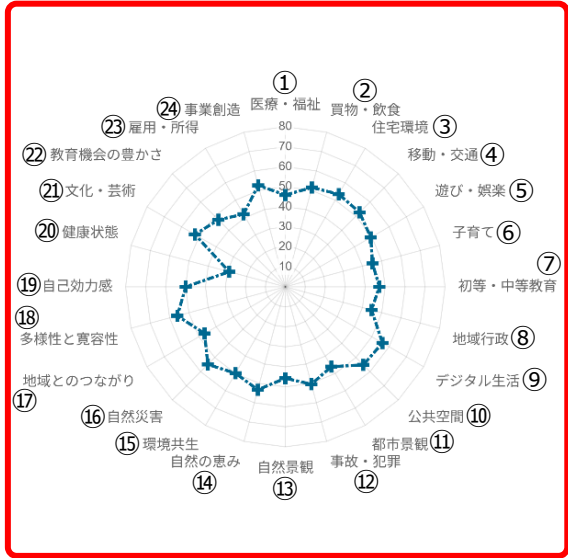
10～0の間で1つ選択する 11件法	回答割合
とても幸せ=10	11.4
9	5.9
8	20.9
7	18.2
6	10.0
5	20.2
4	4.8
3	4.8
2	2.4
1	0.5
とても不幸=0	0.8

生活満足度 平均値 6.2

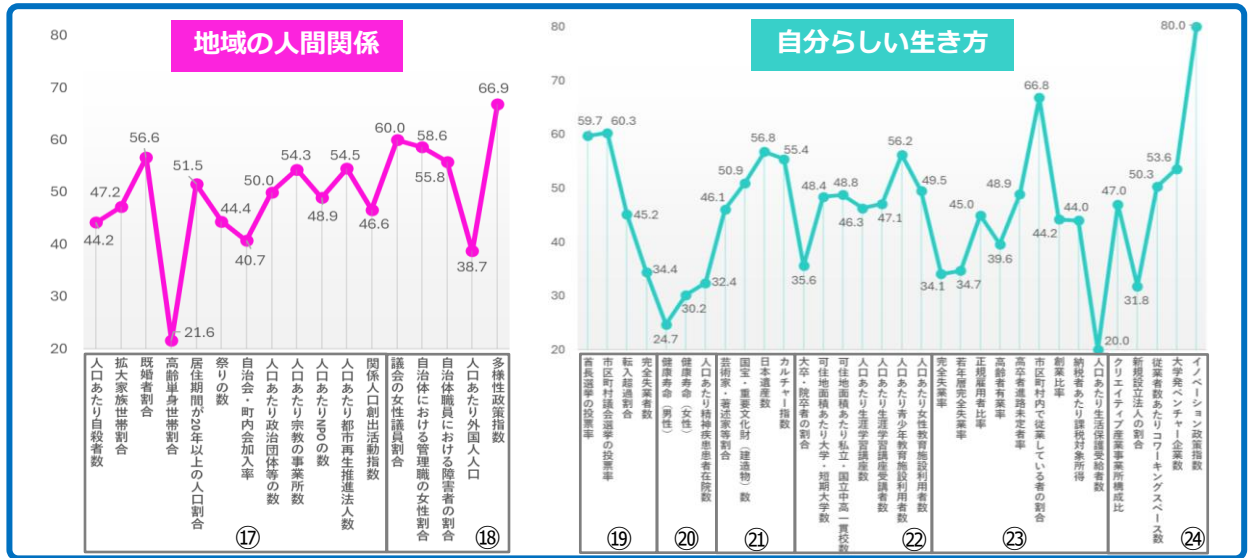
10～0の間で1つ選択する 11件法	回答割合
とても満足=10	8.0
9	5.8
8	17.5
7	14.4
6	12.4
5	22.6
4	6.7
3	7.2
2	2.6
1	1.6
とても不満足=0	1.3

函館市の客観指標 (オープンデータによる客観データ)

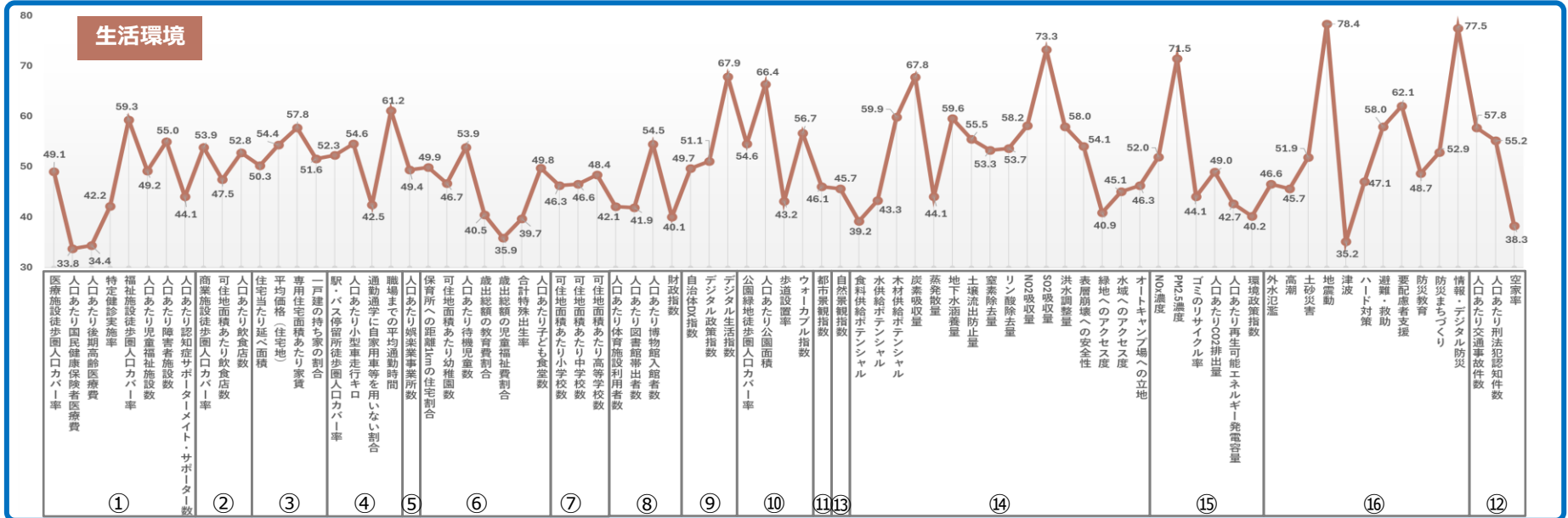
24の 카테고리別チャート



24の 카테고리を3つの因子郡に細分化



生活環境

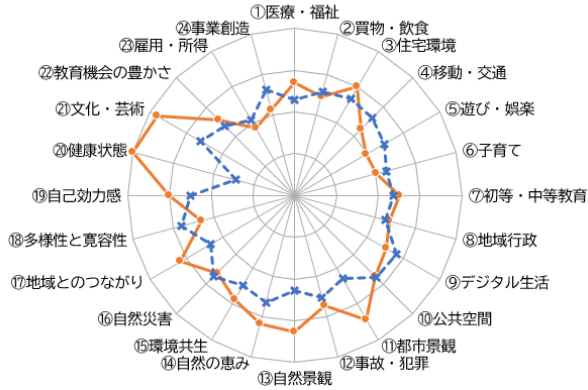


※ 数値は偏差値 (全国平均 = 50)

【函館市に関する主観・客観評価 年代別グラフ一覧】

全体：n=1,487

—●— 主観データ -●- 客観データ



地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

各種統計データを用いた「客観指標」と、アンケート調査を行う「主観指標」のデータをバランス良く活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標で偏差値化・可視化したものです。またの特徴を俯瞰で捉え、地域の政策立案に活用することを目的として、デジタル庁で公開しています。今回のアンケート調査では、1,487名から回答がありました。

【客観指標と主観指標について】 ※ デジタル庁ホームページより

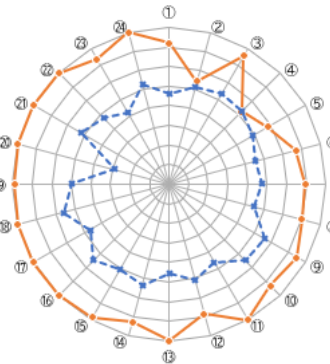
客観指標：オープンデータによる客観データ

- ・各種オープンデータ等をもとにしている
- ・「暮らしやすさ」を測定したもの
- ・分野間などの比較に用いる

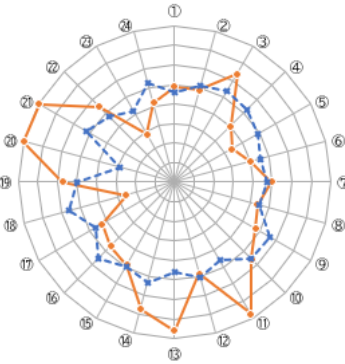
主観指標：アンケートによる主観データ

- ・各自治体が集めたアンケートデータをもとにしている
- ・「幸福感 (Well-being)」を算出したもの
- ・時系列での比較に強い

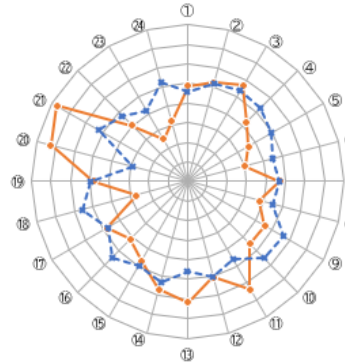
10代 (n=303)



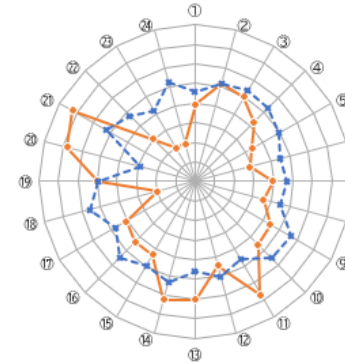
20代 (n=168)



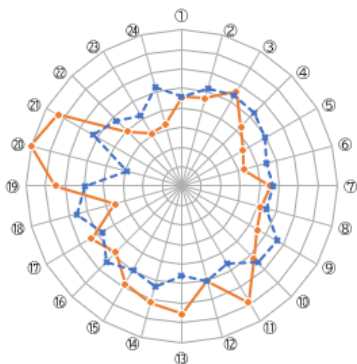
30代 (n=183)



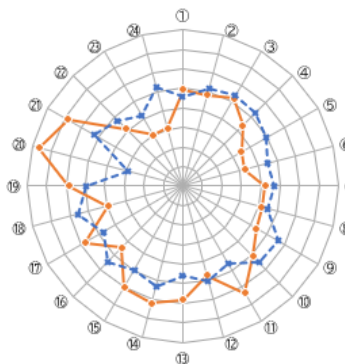
40代 (n=170)



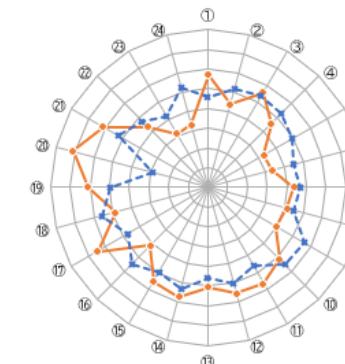
50代 (n=172)



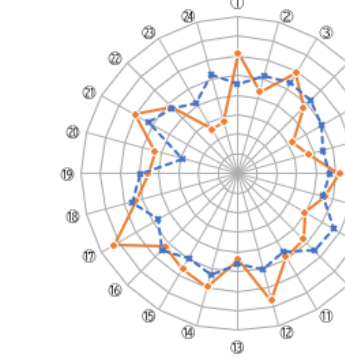
60代 (n=187)



70代 (n=190)



80歳以上 (n=105)



※全体の集計には、年代無回答の方 (n=9) が含まれています。

R6年度実施 Well-Being指標に関するアンケート調査結果

【函館市に関する主観・客観評価 年代別分析】

A 主観指標と客観指標がともに 50 未満 の分野

C 主観指標が 50 以上, 客観指標が 50 未満 の分野

B 主観指標が 50 未満, 客観指標が 50 以上 の分野

D 主観指標と客観指標がともに 50 以上 の分野

全体 : n=1,487

10代 : n=303

20代 : n=168

30代 : n=183

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ①医療・福祉 ⑦初等・中等教育 ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ⑳健康状態 ㉒教育機会の豊かさ	D ③住宅環境 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ⑫事故・犯罪 ⑭自然の恵み ⑯自然災害 ㉑文化・芸術
	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑥多様性と寛容性 ㉔事業創造
主観 50 未満	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑥多様性と寛容性 ㉔事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ⑳健康状態 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	D ②買物・飲食 ③住宅環境 ④移動・交通 ⑧デジタル生活 ⑩公共空間 ⑫事故・犯罪 ⑭自然の恵み ⑯自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉑文化・芸術 ㉒事業創造
	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑥多様性と寛容性 ㉔事業創造
50 未満	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑥多様性と寛容性 ㉔事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑲自己効力感 ⑳健康状態 ㉒教育機会の豊かさ	D ③住宅環境 ⑩公共空間 ⑭自然の恵み ㉑文化・芸術
	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑳健康状態	D ②買物・飲食 ③住宅環境 ⑫事故・犯罪 ⑭自然の恵み ㉑文化・芸術
	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造

40代 : n=170

50代・60代 : n=359

70代 : n=190

80歳以上 : n=105

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑳健康状態	D ②買物・飲食 ⑭自然の恵み ㉑文化・芸術
	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ③住宅環境 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ③住宅環境 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ⑳健康状態	D ③住宅環境 ⑩公共空間 ⑭自然の恵み ㉑文化・芸術
	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ①医療・福祉 ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑫事故・犯罪 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ①医療・福祉 ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり ⑲自己効力感 ⑳健康状態	D ③住宅環境 ⑩公共空間 ⑫事故・犯罪 ⑭自然の恵み ㉑文化・芸術
	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑦初等・中等教育 ⑧地域行政 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉒事業創造

	客観 50 未満	客観 50 以上
主観 50 以上	C ①医療・福祉 ⑦初等・中等教育 ⑮環境共生 ⑰地域とのつながり	D ③住宅環境 ⑫事故・犯罪 ⑭自然の恵み ⑬自然災害 ⑰多様性と寛容性 ㉑文化・芸術
	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑲自己効力感 ⑳健康状態 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ㉒事業創造
主観 50 未満	A ⑤遊び・娯楽 ⑥子育て ⑧地域行政 ⑪都市景観 ⑬自然景観 ⑲自己効力感 ⑳健康状態 ㉒教育機会の豊かさ ㉓雇用・所得	B ②買物・飲食 ④移動・交通 ⑨デジタル生活 ⑩公共空間 ㉒事業創造

※全体の集計には、年代無回答の方 (n=9) が含まれています。

- ・すべての年代で「自然の恵み」、「文化芸術」の偏差値が主観指標、客観指標ともに50以上
- ・40代を除くすべての世代で「住宅環境」の偏差値が主観指標、客観指標ともに50以上
- ・10代,20代では「教育機会の豊かさ」の主観指標の偏差値が50以上 (その他の年代は50未満)、客観指標の偏差値は50未満
- ・80歳以上を除くすべての年代で「都市景観」、「自然景観」、「健康状態」の主観指標の偏差値が50以上、客観指標の偏差値は50未満
- ・10代を除くすべての年代で「移動・交通」、「デジタル生活」、「事業創造」の主観指標の偏差値が50未満、客観指標の偏差値は50以上
- ・10代を除くすべての年代で「遊び・娯楽」、「子育て」、「地域行政」、「雇用・所得」の偏差値が主観指標、客観指標ともに50未満

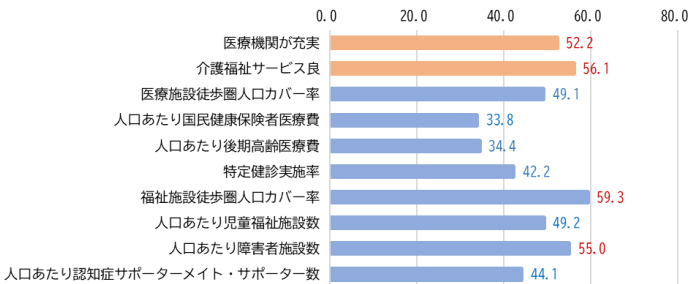
R6年度実施 Well-Being指標に関するアンケート調査結果

【函館市に関する主観・客観評価の詳細①】

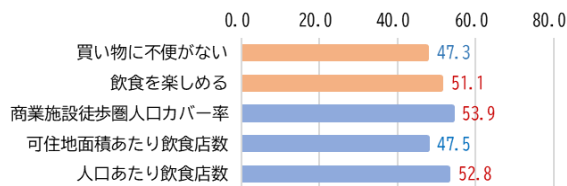
主観指標

客観指標

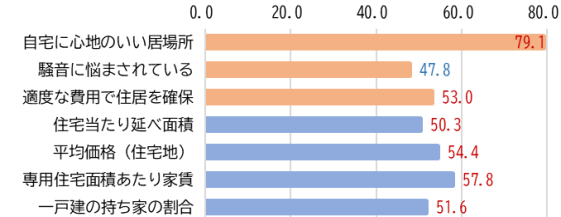
①医療・福祉



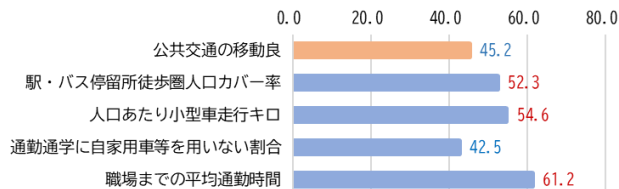
②買物・飲食



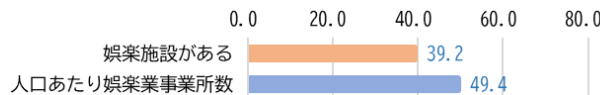
③住宅環境



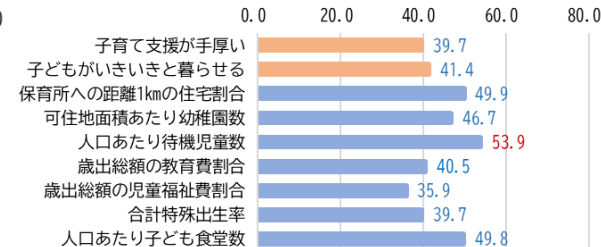
④移動・交通



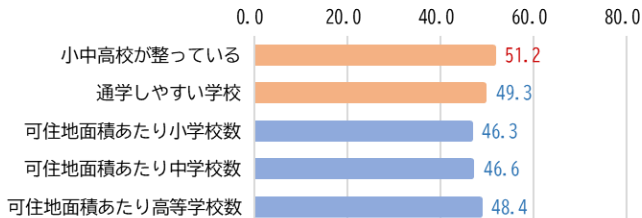
⑤遊び・娯楽



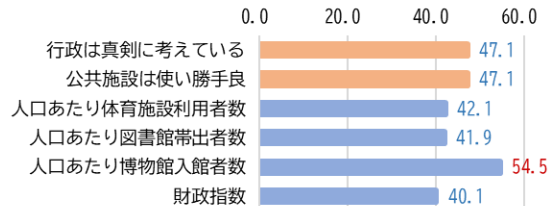
⑥子育て



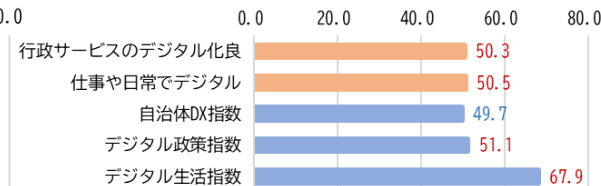
⑦初等・中等教育



⑧地域行政



⑨デジタル生活



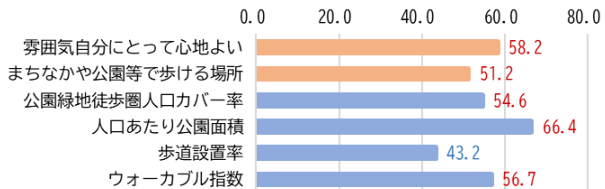
R6年度実施 Well-Being指標に関するアンケート調査結果

【函館市に関する主観・客観評価の詳細②】

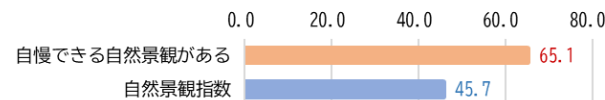
主観指標

客観指標

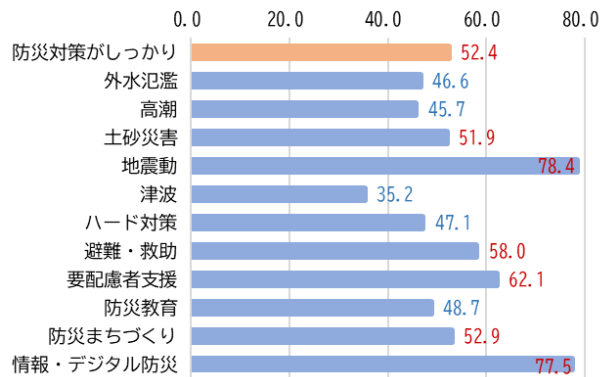
⑩公共空間



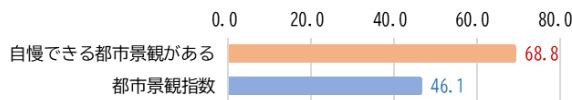
⑬自然景観



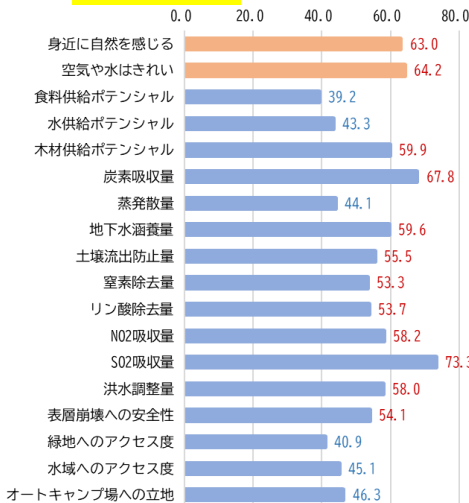
⑯自然災害



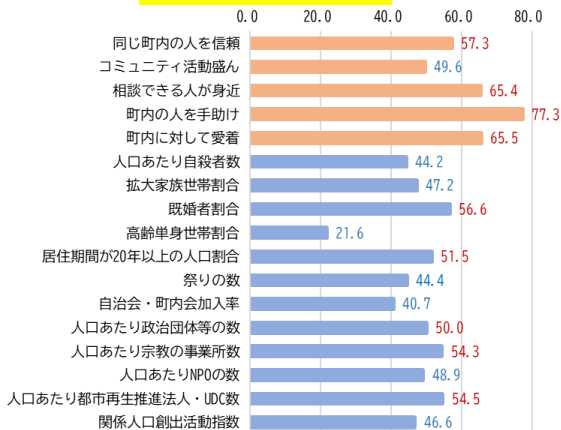
⑪都市景観



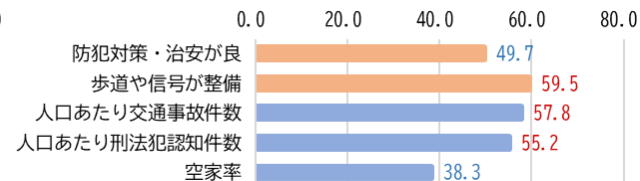
⑭自然の恵み



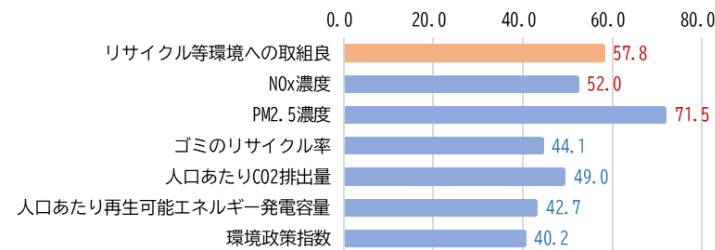
⑰地域とのつながり



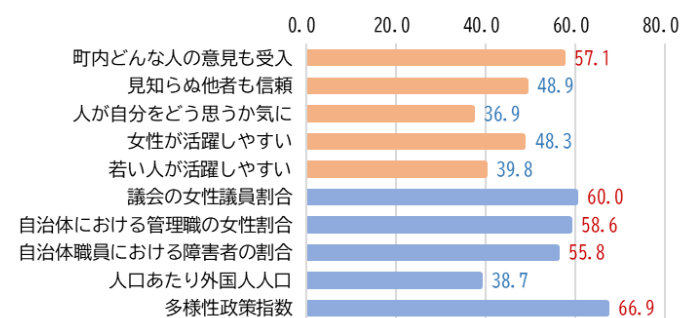
⑫事故・犯罪



⑮環境共生



⑱多様性と寛容性



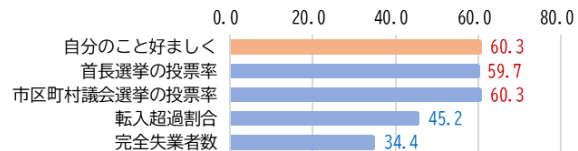
R6年度実施 Well-Being指標に関するアンケート調査結果

【函館市に関する主観・客観評価の詳細③】

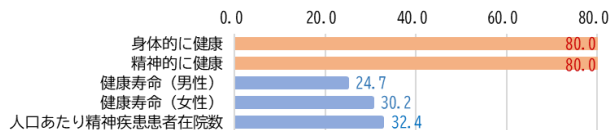
主観指標

客観指標

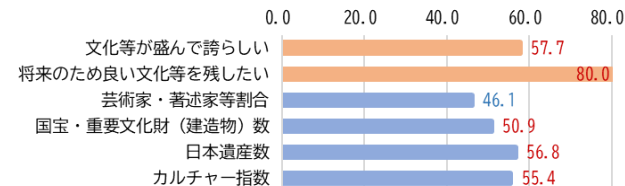
⑱ 自己効力感



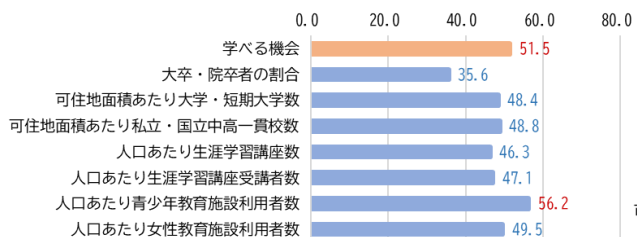
⑳ 健康状態



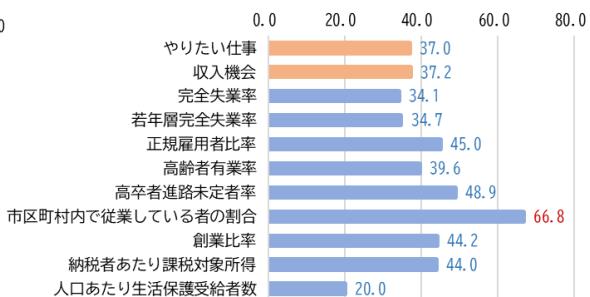
㉑ 文化・芸術



㉒ 教育機会の豊かさ



㉓ 雇用・所得



㉔ 事業創造

